

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部
	19072-1	企画展開催費	室名	文化振興局文化スポーツ室歴史博物館
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	04:歴史文化の継承	務	款 教育費
	基本施策の方向	02:屋根のない博物館の創出	科	項 社会教育費
戦略プロジェクト		目	目 博物館費	

② 目的・概要	対象	市民および亀山市への来訪者
	目的	市民の皆さんが取り組む歴史的風土を生かしたまちづくりの起点となることを目指す。
概要	市制施行10周年記念の下、第24回企画展「亀山地方の街道絵図」(春季)、第25回企画展「鈴鹿関」第一部「鈴鹿関を通る」(秋季)、同第二部「姿を現した鈴鹿関」(冬季)、亀博自由研究のひろば「昔の人が経験した災害」(夏季)を開催する。特に、第25回企画展は、まちなみ文化財室との共催展示を行う。	

			27年度	28年度
①	名称	企画展入館者数	計画値	
	補足	第24回と第25回の企画展開催中に入館者数	実績値	3,778
			単位	人
②	名称	自由研究のひろば入館者数	計画値	
	補足	自由研究のひろば開催期間中に入館者数	実績値	1,212
			単位	人
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績				第24回企画展「亀山地方の街道絵図」 会期4/27～6/7 観覧者数1,385人 第25回企画展「鈴鹿関」 第一部会期10/10～12/6 観覧者数1,339人 第二部会期1/4～3/6 観覧者数1,054人 亀博自由研究のひろば「昔の人が経験した災害」 会期7/4～8/31 観覧者数1,212人  企画展等利用者数/27年度入館者数 4,990人/10,095人				
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	7,202	平均給与額×③
	国庫支出金				一般職員人件費 ②	5,764		
	県支出金				所要人員 ③	0.76		
	地方債				臨時職員人件費 ④	1,438		
	その他		1,380	950	受益者負担額 ⑤			
	一般財源		1,378	1,665	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	7,202			
	総コスト		⑥	9,817				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】 今回の企画展と自由研究のひろばは、東海道、鈴鹿関、災害というように、亀山市に対し絶えず尋ねられる歴史事象であったり、全国的に注目される歴史事象であったり、昨今の人々に関心深いテーマを設定した。このことが、1,000人を超える観覧者を得ることにつながったとみている。	総合判定 <b>A</b> 順調に進んだ
	【反省点・課題】 企画展の記録と内容を広く伝えるウェブ図録の発信ができなかった展示がある。	

【改善の方向性】 企画展の記録と内容を広く伝えるウェブ図録の発信については、今後会期前、会期中、会期直後という3つのいずれかのタイミングで発信できるようにする。		
事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 歴史博物館長 小林 秀樹